



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|------|--------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 395,991 | 9.0 | 64,115 | 21.3 | 60,977 | 3.9 | 43,484 | 30.1 |
| 27年3月期第3四半期 | 363,201 | 5.2 | 52,869 | 9.6 | 58,689 | 17.6 | 33,426 | △9.4 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 44,141百万円 (△51.6%) 27年3月期第3四半期 91,204百万円 (9.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 115.31 | 107.87 |
| 27年3月期第3四半期 | 88.02 | 87.40 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 982,031 | 591,311 | 60.2 | 1,572.98 |
| 27年3月期 | 992,073 | 573,523 | 57.8 | 1,513.73 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 591,029百万円 27年3月期 573,444百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | - | 14.50 | - | 16.00 | 30.50 |
| 28年3月期 | - | 19.00 | - | - | - |
| 28年3月期(予想) | - | - | - | 19.00 | 38.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 525,000 | 7.3 | 80,000 | 18.6 | 75,000 | 6.0 | 50,000 | 30.0 | 132.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成28年2月4日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

・年間想定レート；1ドル=121円、1ユーロ=133円（第4四半期想定レート；1ドル=120円、1ユーロ=130円）

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 5 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期3Q | 379,760,520株 | 27年3月期 | 379,760,520株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 4,022,334株 | 27年3月期 | 931,476株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期3Q | 377,111,978株 | 27年3月期3Q | 379,745,900株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 5 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）における医療市場は、米国ではオバマケアによる被保険者数の増加などを背景に、医療需要が拡大しつつあります。また、中国では景気減速の懸念が高まっていますが、医療需要は総じて拡大傾向で推移しました。日本では、平成28年度の診療報酬改定率が決定し、薬価、公定価ともにマイナス改定となるなど、医療費抑制に向けた取り組みが続いています。一方、平成26年に施行された医薬品医療機器法の下、再生医療の実用化に向けた取り組みが活発化しつつあります。当社では、虚血性心疾患による重症心不全を対象としたヒト（自己）骨格筋由来細胞シート「ハートシート」が、同法施行後初となる条件及び期限付承認を取得し、11月に保険適用が承認されました。

このような環境の下、当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、カンパニー経営を軸に持続的かつ収益性のある成長を目指して経営を推進しております。

各カンパニーにおける主なポイントは以下の通りです。

- 心臓血管カンパニーは、カテーテル（TIS）事業やニューロバスキュラー（脳血管）事業の売上が引き続き堅調に推移しました。
- ホスピタルカンパニーは、ドラッグ&デバイス（D&D）事業など高収益事業の拡大や、事業ポートフォリオの見直し等を進め、収益性向上に努めました。
- 血液システムカンパニーは、アフェレシス治療分野及び細胞処理システム分野の売上が拡大するとともに、新興国を中心に血液センター向け製品の販売が堅調でした。

当社グループは、海外子会社の業績管理区分を一部見直したため、平成26年10月1日より、連結子会社であるハーベストテクノロジーズCorp. およびハーベストテクノロジーズGmbHに係る収支を、従来の「心臓血管カンパニー」から「血液システムカンパニー」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

売上高は、前年同期比9.0%増の3,960億円となりました。

(単位：百万円)

| | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 伸長率 (%) | 為替影響除く 伸長率 (%) |
|----------------------|------------------|------------------|------------|-------------------|
| 売上高 | 363,201 | 395,991 | 9.0 | 4.8 |
| 売上総利益 | 190,678 | 214,648 | 12.6 | 9.1 |
| 営業利益 | 52,869 | 64,115 | 21.3 | 22.9 |
| 経常利益 | 58,689 | 60,977 | 3.9 | — |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 33,426 | 43,484 | 30.1 | — |

(単位：百万円)

| 地域別売上高 | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 伸長率 (%) | 為替影響除く 伸長率 (%) |
|--------|------------------|------------------|------------|-------------------|
| 日本 | 138,922 | 140,433 | 1.1 | 1.1 |
| 欧州 | 78,397 | 76,420 | △2.5 | 1.0 |
| 米州 | 90,884 | 108,732 | 19.6 | 6.0 |
| アジア他 | 54,996 | 70,404 | 28.0 | 17.8 |
| 海外計 | 224,278 | 255,558 | 13.9 | 7.1 |
| 合計 | 363,201 | 395,991 | 9.0 | 4.8 |

日本では、血液センター向けの売上が減少しましたが、TIS事業が売上を伸ばし、前年同期比1.1%増の1,404億円となりました。海外では、米国及び中国を中心とするアジアのTIS事業と、ニューロバスキュラー事業の売上が引き続き好調に推移し、前年同期比13.9%増の2,556億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、国内外における高付加価値製品の売上拡大が寄与し、前年同期比12.6%増の2,146億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を上回ったことにより、前年同期比21.3%増の641億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加と為替差損の結果、前年同期比3.9%増の610億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比30.1%増の435億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

| 事業セグメントの名称 | | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 伸長率 (%) | 為替影響除く 伸長率 (%) |
|-------------|------|------------------|------------------|------------|-------------------|
| 心臓血管カンパニー | 売上高 | 165,890 | 193,241 | 16.5 | 10.1 |
| | (国内) | 35,995 | 37,765 | 4.9 | 4.9 |
| | (海外) | 129,894 | 155,476 | 19.7 | 11.5 |
| ホスピタルカンパニー | 売上高 | 122,466 | 122,777 | 0.3 | △1.0 |
| | (国内) | 93,716 | 94,257 | 0.6 | 0.6 |
| | (海外) | 28,749 | 28,520 | △0.8 | △6.0 |
| 血液システムカンパニー | 売上高 | 74,844 | 79,972 | 6.9 | 2.6 |
| | (国内) | 9,210 | 8,410 | △8.7 | △8.7 |
| | (海外) | 65,634 | 71,561 | 9.0 | 4.2 |

<心臓血管カンパニー>

日本では、TIS事業が売上を伸ばし、増収となりました。海外では、TIS事業において、米国のTRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）関連製品の販売が、引き続き好調に推移しました。また、中国を中心にアジアの売上も伸長しました。ニューロバスキュラー事業は米国及び中国を中心にアジアでの売上を大きく伸ばしました。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比16.5%増の1,932億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、D&D事業を中心に高付加価値製品の売上拡大を図る一方、海外では低収益ビジネスの縮小など、事業ポートフォリオの見直しを進めました。

その結果、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比0.3%増の1,228億円となりました。

<血液システムカンパニー>

日本では、献血数の減少傾向が続く中、採血時に使用される関連製品の需要にも影響があり、減収となりました。海外では、米国で当初の計画よりずれ込んでいた新価格への移行が進みつつあり、血液センター向けの製品において売上の伸びが鈍化したものの、アフレンシス治療分野及び細胞処理システム分野の売上が拡大するとともに、新興国を中心に血液センター向け製品の販売も堅調に推移しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比6.9%増の800億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ100億円減少して9,820億円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加等により、99億円増加して4,223億円となりました。

固定資産は、217億円減少して5,541億円となりました。有形固定資産は1億円減少、無形固定資産は173億円減少、投資その他の資産は43億円減少となりました。

(負債)

負債の部は、未払法人税等及び仕入債務の減少等により、278億円減少して3,907億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、178億円増加して5,913億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.4ポイント増加し、60.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年9月24日に公表しました通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を踏まえ、営業利益の予想額を760億円から800億円に、経常利益を730億円から750億円に、親会社株主に帰属する当期純利益を485億円から500億円に修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(3)、連結会計基準第44－5項(3)及び事業分離等会計基準第57－4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首において、のれん3,135百万円及び資本剰余金1,175百万円が減少するとともに、利益剰余金が1,220百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ143百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 129,679 | 136,508 |
| 受取手形及び売掛金 | 104,944 | 110,576 |
| 有価証券 | 50,000 | 55,000 |
| たな卸資産 | 101,472 | 99,122 |
| 繰延税金資産 | 13,949 | 12,413 |
| その他 | 13,871 | 10,330 |
| 貸倒引当金 | △1,458 | △1,624 |
| 流動資産合計 | 412,458 | 422,327 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 60,783 | 65,260 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 45,616 | 51,234 |
| 土地 | 22,023 | 23,724 |
| リース資産(純額) | 895 | 887 |
| 建設仮勘定 | 39,029 | 27,649 |
| その他(純額) | 10,147 | 9,623 |
| 有形固定資産合計 | 178,496 | 178,380 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 166,990 | 156,126 |
| 顧客関連資産 | 103,217 | 98,745 |
| その他 | 61,781 | 59,849 |
| 無形固定資産合計 | 331,990 | 314,721 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 45,461 | 39,948 |
| 繰延税金資産 | 259 | 295 |
| 退職給付に係る資産 | 6,786 | 5,951 |
| その他 | 12,847 | 14,837 |
| 投資その他の資産合計 | 65,355 | 61,033 |
| 固定資産合計 | 575,842 | 554,135 |
| 繰延資産 | | |
| 繰延資産合計 | 3,772 | 5,567 |
| 資産合計 | 992,073 | 982,031 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 38,484 | 33,473 |
| 短期借入金 | 364 | 180 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 5,417 | 7,376 |
| リース債務 | 208 | 189 |
| 未払法人税等 | 19,714 | 5,527 |
| 繰延税金負債 | 105 | 64 |
| 賞与引当金 | 5,560 | 2,821 |
| 役員賞与引当金 | 142 | 99 |
| 設備関係支払手形及び未払金 | 8,667 | 3,858 |
| その他 | 51,282 | 49,479 |
| 流動負債合計 | 129,947 | 103,071 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 40,000 | 40,000 |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 100,233 | 100,196 |
| 長期借入金 | 79,141 | 78,785 |
| リース債務 | 278 | 210 |
| 繰延税金負債 | 50,013 | 49,577 |
| 役員退職慰労引当金 | 66 | 66 |
| 退職給付に係る負債 | 7,020 | 7,107 |
| 資産除去債務 | 233 | 234 |
| その他 | 11,615 | 11,467 |
| 固定負債合計 | 288,602 | 287,647 |
| 負債合計 | 418,550 | 390,719 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 38,716 | 38,716 |
| 資本剰余金 | 52,103 | 50,928 |
| 利益剰余金 | 383,317 | 412,381 |
| 自己株式 | △3,035 | △14,038 |
| 株主資本合計 | 471,102 | 487,987 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16,910 | 18,636 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 11 |
| 為替換算調整勘定 | 89,043 | 87,393 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △3,611 | △2,999 |
| その他の包括利益累計額合計 | 102,341 | 103,041 |
| 新株予約権 | 78 | 152 |
| 非支配株主持分 | — | 129 |
| 純資産合計 | 573,523 | 591,311 |
| 負債純資産合計 | 992,073 | 982,031 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 363,201 | 395,991 |
| 売上原価 | 172,522 | 181,343 |
| 売上総利益 | 190,678 | 214,648 |
| 販売費及び一般管理費 | 137,808 | 150,532 |
| 営業利益 | 52,869 | 64,115 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 378 | 471 |
| 受取配当金 | 247 | 276 |
| 受取ロイヤリティー | 124 | 113 |
| 為替差益 | 8,098 | — |
| 持分法による投資利益 | 10 | 321 |
| その他 | 989 | 794 |
| 営業外収益合計 | 9,848 | 1,979 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 896 | 1,035 |
| 売上割引 | 513 | 318 |
| 為替差損 | — | 2,361 |
| たな卸資産処分損 | 239 | 48 |
| その他 | 2,378 | 1,353 |
| 営業外費用合計 | 4,028 | 5,117 |
| 経常利益 | 58,689 | 60,977 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 490 | 4,813 |
| 投資有価証券売却益 | — | 776 |
| 債務勘定整理益 | 1,974 | — |
| 特別利益合計 | 2,465 | 5,590 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 419 | 226 |
| 減損損失 | 1,450 | 1,019 |
| 関係会社整理損 | 549 | — |
| 事業再編損 | 6,420 | — |
| 特別損失合計 | 8,839 | 1,245 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 52,315 | 65,322 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 21,133 | 22,140 |
| 法人税等調整額 | △2,243 | △267 |
| 法人税等合計 | 18,889 | 21,872 |
| 四半期純利益 | 33,426 | 43,449 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | — | △34 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 33,426 | 43,484 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日） | 当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日） |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 33,426 | 43,449 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,211 | 1,725 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2 | 11 |
| 為替換算調整勘定 | 53,571 | △1,655 |
| 退職給付に係る調整額 | △10 | 611 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 3 | △2 |
| その他の包括利益合計 | 57,778 | 691 |
| 四半期包括利益 | 91,204 | 44,141 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 91,204 | 44,181 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | △40 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が10,999百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|--------------------------|---------------|----------------|-----------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 心臓血管 カンパニー | ホスピタル カンパニー | 血液システム カンパニー | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 165,890 | 122,466 | 74,844 | 363,201 | — | 363,201 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 165,890 | 122,466 | 74,844 | 363,201 | — | 363,201 |
| のれん等償却除くセグ メント利益 | 34,154 | 16,497 | 14,159 | 64,811 | 972 | 65,783 |
| セグメント利益 | 32,849 | 16,497 | 2,550 | 51,897 | 972 | 52,869 |
| のれん等償却除くセグ メント利益率 (%) | 20.6 | 13.5 | 18.9 | 17.8 | — | 18.1 |

(注) 1. セグメント利益の調整額972百万円には、たな卸資産の調整額△478百万円、その他1,450百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,450百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-------------------------|---------------|----------------|-----------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 心臓血管 カンパニー | ホスピタル カンパニー | 血液システム カンパニー | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 193,241 | 122,777 | 79,972 | 395,991 | — | 395,991 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 193,241 | 122,777 | 79,972 | 395,991 | — | 395,991 |
| のれん等償却除くセグ メント利益 | 47,801 | 18,249 | 14,327 | 80,378 | △956 | 79,422 |
| セグメント利益 | 46,439 | 18,249 | 382 | 65,072 | △956 | 64,115 |
| のれん等償却除くセグ メント利益率(%) | 24.7 | 14.9 | 17.9 | 20.3 | — | 20.1 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△956百万円には、たな卸資産の調整額△1,046百万円、その他90百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては884百万円であります。

報告セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては134百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、海外子会社の業績管理区分を一部見直したため、平成26年10月1日より、連結子会社であるハーベストテクノロジーズCorp. およびハーベストテクノロジーズGmbHに係る収支を、従来の「心臓血管カンパニー」から「血液システムカンパニー」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当該変更を反映したものを開示しております。